

第 12 回垂水市ふるさと 俳句コンクール入賞作品の紹介

◎学校教育課／☎ 32-7213

教育長賞
3点

イカ釣りの秘密の穴場家の前
境小学校 5年 吉田 陽向

夏の庭の生命が騒ぎ出す
垂水中央中学校 3年 西川 修平

炎天下瓦を担ぐもくもくと
垂水高等学校 3年 川畑 孝斗

特選
8点

カンパチがロケット見たいと海はねる
新城小学校 5年 須賀 結麻

やきいわし自分で焼いたらまっくろに
垂水小学校 5年 川原 悠希

おろんまえおろごめにこがしらを
なげとばす
柁原小学校 5年 瀬戸口 美輝

台風がカンパチのうずにみえてきた
協和小学校 6年 和田 勇昇

ぐるぐると台風がきてせまるんだ
協和小学校 6年 下園 愛里

向日葵よ私の身長こさないで
垂水中央中学校 2年 小谷 希望

潮風の匂いをたどり急ぐ帰路
垂水高等学校 1年 中村 美月

バス待ちにこつんとあたるとんぼかな
垂水高等学校 3年 船間 万誉

※敬称略

cotsu-cotsu

コッコツは
学びの始まり

俳句づくりをとおして、市内の児童生徒が「ふるさと垂水」を愛する心情を培うとともに、日本語のもつ美しさや俳句のリズムを理解することで、児童生徒の豊かな表現力の向上を目的に、「第12回ふるさと俳句コンクール」を実施しました。今回は、市内小・中・高等学校から557人、764句の

応募がありました。■教育長賞選評（抜粋）①吉田陽向さんの作品 錦江湾には、季節にくさんのイカがやって来ますが、釣り人はよく釣れる自分だけの穴場があるのです。家の前がイカ釣りの穴場であることは誇りでもあるのです。イカ釣りを通して、目の前の錦江湾への愛着がよく

あらわれています。②西川修平さんの作品 夏になると、庭の木や草や虫など、あらゆる生命が「騒ぎ出す」さすにはいられない気分を鋭敏に感じ取った作品です。生きるものへのエールと、作者の生の肯定の意思表示でもあります。③川畑孝斗さんの作品 この作品のよさは映像

すべての入賞作品と講評は垂水市公式WEBサイトからご確認ください。



がすぐに描き出されることです。一読すると、どこへも逃れようのない「炎天下」で瓦を担ぐ人物のひたむきな様子に眼がくぎ付けになります。

ラストは、
さざなみ学童クラブ

◎福祉課 児童障害者係 ☎内線 124・127



1 さざなみ学童クラブ外観 2 在籍するこどもたち（在籍数 17人／11月30日現在） 3 ハロウィンにみんなで仮装をした時の様子

さざなみ学童クラブは、主に柁原小学校と新城小学校の小学1年～小学3年生の17人が在籍しています。長期休みになると、垂水小の子どもたちも利用し、子どもたちの交流が広がっています。支援員・補助員の8人で適時対応しています。

送迎車が着くと元気な声で、「ただいま」と静かな部屋も急に賑やかになり、ランドセルやバッグをロッカーへ。手洗いや着替えを済ますと、おやつ、宿題、自由あそび、制作をしながら子どもたちは、保護者のお迎えを待ちます。

保護者等が仕事などの理由により、放課後、自宅で保育できない児童が楽しく安全に安心して過ごせる場所として、さざなみ保育園の隣に設置しています。

さざなみ学童クラブは、社会福祉法人さざなみ福祉会が

Child institution Introduction

こどものひろば

市内児童施設を
毎月ご紹介！

さざなみ学童クラブ

DATA 所在地 垂水市柁原 3378-2（さざなみ保育園併設）
☎ 0994-35-2661
開設 【月～土曜】
授業終了後
柁原小・新城小へ専用車で迎え～18:00
※延長時間 18:00～19:00
第2土曜日授業終了後
柁原小・新城小へ専用車で迎え～18:00
【祝祭日】
年末年始 12/29～1/3 除き 8:00～18:00
定員 40人



運営しており、保育士・幼稚園教諭の資格をもったスタッフが、児童の放課後の安全を確保し、適切な遊びおよび生活の場を与えることにより、児童の健全な育成支援を行っています。



主な行事

- 新入生歓迎会 ●誕生会 ●七夕飾り付け
- 野山のどんぐり拾い葉っぱで制作 ●魚釣り
- 平川動物公園へ遠足 ●もちつき ●クリスマス会など